

〇〇もんずら



ほんとうの顔？

「鏡よ、鏡、世界で一番美しいのは、だあれ？」

「白雪姫が一番 美しい！」

「なんですって！」

この間まで「世界で一番美しいのは、王妃様です。」と答えていた魔法の鏡なのに・・・
怒りに燃えた王妃様がとった行動は、皆さんご存じと思います。

マイナンバーカードを置いてください。画面の指示に従ってください。暗証番号か顔認証かどちらかを選んでください。情報の提供に同意しますか。カードを取り出してください。

病院受付に置いてあるカードリーダーにまだ慣れません。本人確認とはいえ、マイナンバーカードの顔は、本当の自分の顔なのだろうか。記号のように扱われる顔って何？他人にはこう見えているの？鏡に映るなじみの顔じゃないよ。と、思っている自分の顔を周りの人に見られたくなくて、待合室で下を向いてしまいます。そんなある日、10 数年前の全校朝会で〈自分の顔〉について子供達と考えたことを思い出しました。

自分の顔を見ているのは誰でしょう。自分ではないのですね。鏡に映った自分の顔を見ることはできますが、本当の顔を見ているのは自分以外の人なのです。人間の顔には、その人の気持ちが表れます。心が感じられます。王妃様のように憎む心をもっていると、その顔には憎む心が映ります。優しい心をもっている時は、優しい顔つきになっています。気持ちや心で人間の顔は変わります。しかし、その変わった顔を自分で見ることはできません。でも、自分は世界中にたった一人しかいません。そのたった一人の自分の顔を素敵にしたいなあこの頃考えます。皆さんはどうですか？自分の顔を素敵にする方法あるかなあ。

わたしはわたしを見つめる他人の表情を読むことによってしか自分の顔を想像できないし、また想像することによってしか自分の顔に近づけない。【顔の現象学：鷲田精一】



顔

松下育男

こいびとの顔を見た

ひふがあつて

裂けたり

でっぼりたりで

にんげんとしては美しいが

いきものとしてはきもちわるい

こいびとの顔を見た

これと

結婚する

帰り

すれ違う人たちの顔を

つぎつぎ見た

どれもひふがあつて

みんなきちんと裂けたり

でっぼりたりで

これらと

世の中 やってゆく

帰って

泣いた

詩集『肴』 1978